



吉川淑子議員

住民協働

今後のスケジュールは

3月までに計画策定

質問 平成十八年四月から「住民協働推進室」が設置された。少子高齢化が進む中、地域課題を解決・改善していく方法としては、ベターであると思う。ついでに次の点を問う。

①住民協働の推進状況と今後のスケジュールは。

②各地区の組織の状況、地区への啓発は。

沼崎町長

①町民を委員とした「第一回住民協働推進計画策定委員会」を昨年十二月に開催し、町の計画を示した。今後はこの委員会で検討を進め、三月までに

は計画を策定したい。

②町内には十八の自治会、コミュニティ組織がある。これらの自治会ではそれぞれ独自の活動を行っているが、活動の停滞や役員のなり手がいないなどの悩みを抱えている自治会もある。

新たな自治会として、今年度、大沢上条地区に組織することができた。また、八幡町、中央町の一部で自主防災組織設立の準備をしている。自治会がない地区については、設立について啓発活動を進めていきたい。

質問 町では、大掃除や不法投棄パトロール、ゴミの分別指導などを実施し、不法投棄の防止や啓発活動に取り組んでいるが、不法投棄が後を絶たない状況である。山田町の豊かな自

ゴミ問題

不法投棄の対応策は 関係機関と連携し対策講じる

然・環境を守るため次の点を問う。

①不法投棄の状況は。

②今後の対応策は。

沼崎町長

①平成十七年度は、電化製品、古タイヤなどで九・

三・。十八年度は十月末現在で二・八と依然として後を絶たない状況にある。

②「きれいなふるさと指導員」「クリーンキーパー」の協力により、不法投棄防止パトロール、不法投棄現場への看板設置などを行っており、今後とも活動の充実に努める。

ごみの不法投棄は犯罪であるとの認識をあらゆる機会を通じて啓発し、宮古警察署をはじめとした関係機関との連携を強め対策を講じていく。

町の考えを聞く



町公衆衛生組合連合会による「不法投棄パトロール」の様子